

Photo

「Perry in New York」

テロ1年後のNYを 体感するアートイベント

街角の人々の笑顔とメッセージを集めるアートプロジェクト『Meety』を1999年から、東京・原宿や阪神大震災の被災地で繰り広げてきたアートディレクターの水谷孝次が、米同時多発テロから1年後のニューヨークをテーマに選んだ。



昨年9月11日をはさんで9日間、ニューヨークで撮影した作品の数々を紹介。少女を中心に約400人の笑顔をとらえた写真と直筆メッセージを、映像で会場の床面や壁面に映し出す。

「テロの現場を歩いて、つらく、重いものもありましたが、一步、街に出ればポジティブな笑顔があふれていました。悲劇を知っているからこそ、幸せが分かるんですね」と水谷は振り返る。

2月14―23日、東京・六本木の六本木ヒルズインフォメーションセンター「THINK ZONE」で。問い合わせは、☎03・3478・1931へ。